

玉重委員（自民議連）

令和7年3月11日

教育長職務代理者答弁実録

（教育委員会）

（問）県立高校の魅力向上に向けた今後の取組について

地元企業や指導者などの「地域の資源」や県立高校の強みである「地域とのつながり」を生かしながら、県立高校の魅力を高める取組を進めるとともに、生徒の活気ある姿を生徒目線で情報発信するなど、受験を検討している生徒や保護者の共感を得ながら県立高校の魅力を発信する取組が必要であると考え、県立高校の魅力向上と魅力発信に今後どのように取り組むのか、教育長に伺う。

（答）

県立高校の魅力化に向けましては、生徒や保護者のニーズに応じた教育活動の充実が必要であり、特に、地域の協力や共感を得ながら取り組むことが重要であると認識しております。

このため、例えば、向原高校におきましては、「向高青春フォト」として、安芸高田市の地域おこし協力隊に御協力いただき、生徒が楽しく学校生活を送っている様子をSNSで発信するなどしているほか、吉田高校におきましては、道の駅や地元農家と連携して開発した商品を地域のイベントで販売するなど、地域とのつながりを生かした取組を積極的に行っているところでございます。

また、教育委員会におきましては、1学年1学級規模校の魅力発信ポータルサイトを制作し、Web広告により各校の魅力・特色について、広報を行っております。

今後も、地域とのつながりを大切にし、協力を得ながら、各校の特色ある取組を充実させるとともに、その魅力を広く発信するなどの取組を進めてまいります。